

多賀線 列車脱線事故について

1. 概要

発生日時 2022年2月7日(月) 21時17分頃 天候:晴れ

発生状況 高宮構内で多賀大社前発米原行きの上り電車が駅手前の曲線を走行中、床下から異音を感じ停車し確認したところ、1両目と2両目の一部の車輪が脱線していた。

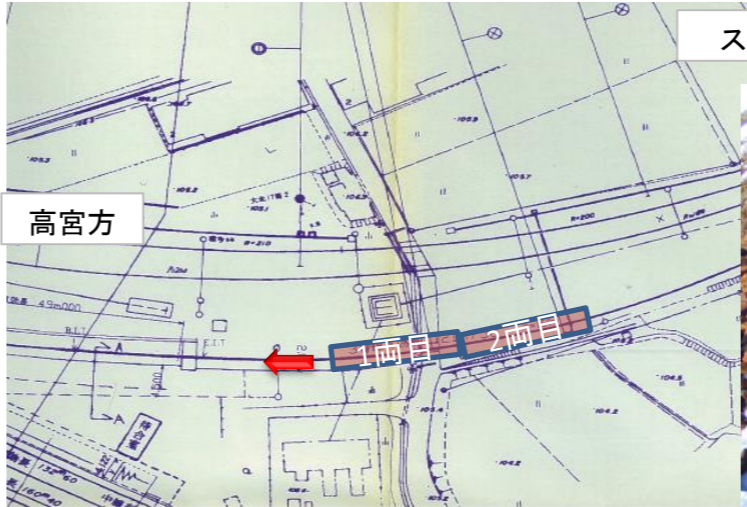
乗客数 当該列車にはお客様約100名と運転士1名が乗車(お怪我等はなし)

運転再開日時 2022年2月12日(土)初電車から

代行輸送 バス及びジャンボタクシーにより実施

影響人員 約4,050人

①平面図



スクリーン方

②線路の状況



コンクリート枕木
木枕木
木枕木
コンクリート枕木

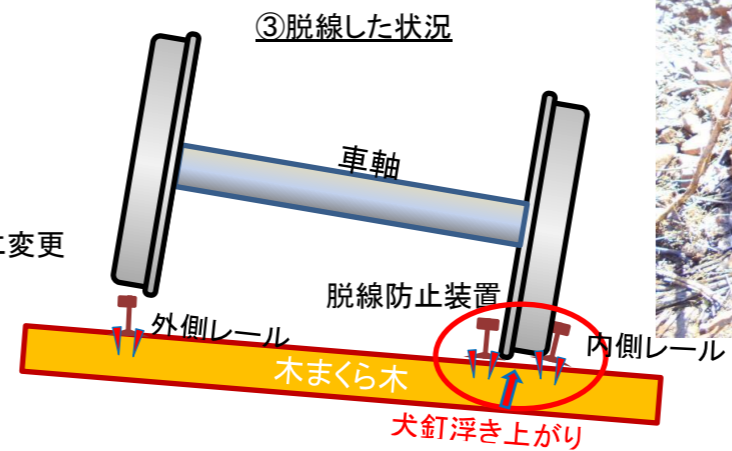
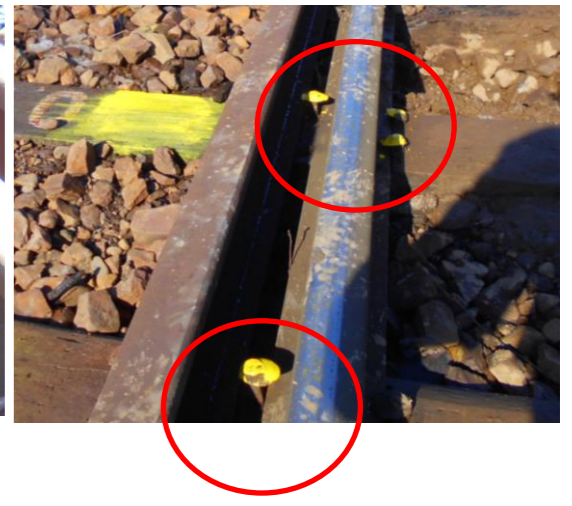
2. 原因 まくらぎとレールを留める金具の悪い状態が連続していた場所を電車が通過した際にその重みにより左右のレールの間隔が外側に拡がり脱線したものと推定。

3. 再発防止策 (1)緊急対策(～2022.3.31)
- ①当該区間の状態の悪いまくらぎとレールの留め金具を補修した。
 - ②全線のまくらぎとレールの留め金具の点検を実施した。
- (2)恒久対策
- ①全線、木まくらぎからコンクリートまくらぎへの変更に計画的に実施する。
※曲線半径250m未満は全数、その他は3丁に1丁のコンクリートまくらぎに変更
 - ②日常点検の実施方法を含め、保線技術全般の知識・技能の向上を図る。
 - ③運輸安全委員会の調査結果により必要な対策を行う。

④金具の状況



⑤犬釘の状況



⑥脱線車両(正面)



⑦脱線した車輪



⑧車輪の脱線状況平面図

